



『しまの宝』

第2号 R3.4.20発行

文責：校長 日高 洋子

歓迎行事に歓声！

今年転校や入学してきた児童生徒のために、児童生徒会主催の歓迎行事が行われました。学校の一日の流れや、ルールについて生徒会長の大櫛優樹さんから説明があり、みんな真剣に話を聞いていました。特に、一番小さな小学校3年生の湊人さんがわかるように、ゆっくり、はっきり話してくれました。読み聞かせて培われた「話し方」が、このような場面で力を発揮します。



真剣なお話の後には、お楽しみの時間です。5人の新しい仲間と早くうち解けるために「似顔絵リレー」を行いました。モデルとなるのは転入してきた、湊人さん、覚さん、陽菜さん、碧さん、優樹さん(細川)の5人です。絵心がある、なしに関わらず全員でワイワイ言いながら、絵を完成させました。できあがった絵に「似てる〜!」と歓声が上がリ、子ども達の気持ちも少し近づいたようでした。



そして歓迎行事の盛り上がりのピークは「プレルボール」です。あまり聞き慣れないスポーツですが、バレーボールを基本とした、室内の軽スポーツです。ルール説明を聞いた後、チームに分かれて競技開始です。職員の大人げないプレーにも、みんなで笑い転げて、楽しい時間を過ごしました。



英語集会 (Catch E) のスタートです！

本年度初めての英語集会 Catch E (キャッチイー) がありました。久賀小中学校では毎週火曜日にALTのダン先生が来校しますが、月に1~2回ほど、放課後の時間を使って会話を楽しむ集会を行っています。(4月は2回実施する予定です。)

本年度、第1回目のCatch Eは初めての子ども達が困らないように、中学3年生がお世話をしてくれました。決して難しい会話ではありません。でも、英語が楽しめるように、好きになるように、中学校英語科の丸田先生とダン先生が、いろいろな会話が小学生もできるように、準備をします。今回も、中学生が小学生に教える場面が多く見られました。初めての、集会に戸惑いながらも笑顔一杯の小学生でした。



しま留学の目標は…

本校の全校児童生徒14名のうち、13名は全国各地から集まっている、しま留学・家族留学の児童生徒です。久賀島には親元を離れて来ているので、自分なりの目指す姿を思い描き、生活することが大切です。そこで、一人ひとりの「目指す姿」を確認してらおうと全校集会を開きました。しま留学継続の子ども達にも、自分の目標を再確認する意味もあり、全員参加です。唯一、地元の中학생である大櫛優樹さんにも、自身の目標、目指す姿を考え、「受け入れる側」としての思いも確認してもらいました。

新しく島に来た5人については、すっかり島になじんでいます。小学3年生の湊人さんは、この3週間でワンストップあいさつが上手になり、丁寧な言葉づかいが中學生も驚くほどです。4年生の覚さんは、朝の清掃活動で何やら見つけては、ポケットにしまったり、ジッと観察したり、好奇心旺盛です。4年生の陽菜さんは、体を動かすことが得意で、一輪車の練習に熱心です。すぐに乗れるようになる勢いです。5年生の碧さんは、係活動を上手にやって、いつも、職員室に来ては礼儀正しくあいさつをしてくれます。中学1年生の細川優樹さんは、初めての部活動(卓球)に、戸惑いながらも、仲間の優しい声かけに応えようと、頑張っています。

一人ひとりが、志を持って、久賀に来ていますが、この数週間の変化が、3月にはさらに驚くほど強くたくましく、成長してほしいと願います。

中学生卓球大会開催

中學生が、5月の五島市中総体のシード権枠をかけた卓球大会に出場しました。昨年はコロナ禍で中止になってしまいましたが、7月には県中総体が開催予定です。今年こそ勝ち上がって県大会へ出場してほしいと思います。

また、福江島での会場が準備できず、久賀島で初めての試合開催となりました。これまで、卓球部があるのは福江中学校と久賀中学校だけだったため、少人数の本校が福江島に向いての大会が続いていましたが、初めて久賀島で開催となりました。ホスト校としての出迎え、気遣いは日頃の中學生の動きからすると、そう難しいことではなかったようです。試合がなかった男子も、試合のサポートをしてくれました。準備や後片付け

も、率先して行き、1年生にとっても、先輩達の真剣なプレーを見るのは初めてで、いつもと違う雰囲気に応援にも力が入りました。(声は出せませんが…)



結果は中野紗菜さんが全体2位、潤奈さんが4位で五島市中総体のシード枠を獲得しました。2人にとって大きな自信になったと思います。

2年生の南帆さんは福江中の生徒2人に勝利し、自分の足りないところなど、課題が分かったようです。5月まであと1か月ほどになりました。成長が楽しみです。

くが 久賀ツツジ満開

昨年、校舎前や校舎裏にきれいに咲いているツツジに「久賀ツツジ」と勝手に命名し、眺めていましたが、今年も見事に満開を迎えています。朝から子ども達が落ちてしまった花の掃除が大変ですが、美しく咲く花を見ながら、自然の素晴らしさを直に教える良い機会になっています。ツツジが終わる頃には、グラウンド脇の紫陽花がきれいに見頃を迎えられそうです。

今、久賀には山の緑や身近な花を、時間をかけて観察する、ゆったりとした時間が静かに流れています。

